

くらしと福祉を守るのが自治体の大切な仕事です

市民の声に一生懸命こたえ

くらし・平和を守りぬきます

日本共産党 橋本よね子



「子育て・くらし安心の市を」

---この原点でがんばりぬきます

2015年実現の「子ども医療費窓口無料」は県庁への要請行動(下写真)などの運動が実ったもの。これから



も、みなさんと頑張ります。

(写真は右端が橋本議員です)

「災害ゴミ処理は住民負担なしで」

一国会とも連携し実現

昨年8月の水害では、すぐに現地調査に。「ゴミ出しが本当に大変」との切実な声。「何とかできないか」と国会と連絡とり調査。「住民負担なしの制度」を見つけ、市に紹介、実現となりました。



シンポジウムも行いました(昨年9/23)

こんどはこの願いの実現を



国保税1世帯2万円の引き下げを子どもの均等割りをゼロに



補聴器購入に助成制度を買い物難民への支援を



ジェンダー平等をすすめます



日本が戦争にまきこまれます

大軍拡ストップの声を示しましょう!

- * 国会で審議が進むなか、「専守防衛」を踏みにじる「日本が報復攻撃で戦場になる」ことが明らかに。
- * 「日本が戦争に巻き込まれる:86%の方が危惧」(3/7内閣府調査)しています。
- * ところがこういう時に、小松市では「(大軍拡の)安保3文書撤回を求める請願」に、橋本議員以外が全員反対。戦争への道に、のみこまれています。とんでもありません。

極超音速ミサイル 射程3000キロ



高速滑空弾 (能力向上型) 射程2000キロ



米国製トマホーク 射程1600キロ



一国会でこんなことが明らかになりました

長距離ミサイルをそろえて 米軍のもと他国を先制攻撃

「防ぐことが困難」な超音速ミサイルで攻撃します

攻撃にそなえ自衛隊司令部を地下化、核シェルターもつくる

必要な工事の資料をゼネコンに配っていました。



「戦争するな。平和を守れ」の一票は、こぞって橋本よね子にお寄せ下さい